

出前講座「食と健康：日本食のすすめ（遺伝子組換え食品）」報告

広大マスタース会員 室岡義勝

日時：2016年8月1日（月）15:00～16:30

場所：高屋西還暦サロン「きづき」

参加人数：38名

内容：

「食と健康」の第5回出前講義を行った。遺伝子組換え食品について、パワーポイントを使用して紹介した。市民の関心の深い、遺伝子組換え食品の安全性を中心に説明した。現在、日本の市場に出回っている組換え食品の種類、遺伝子組換え作物の作成法、講師の研究室で作出した、トリプトファン含有組換え大豆の作成例、組換え遺伝子と組換えタンパク質の安全性評価試験、遺伝子組換え植物の環境への影響、将来の食糧危機に対応する穀物生産にこの技術が必要なことなどを、できるだけ平易に話した。しかし、遺伝子組換え作物の作成法や除草剤耐性などの理屈は、参加者の学歴がさまざまなので、難しく思った人がいたのは致し方ないだろう。



第5回 遺伝子組換え食品： 安全？ どうして必要なの？

遺伝子組換え食品は危ないか？
日本で流通している遺伝子組換え食品の種類
遺伝子組換え作物の作り方
どんな遺伝子を入れるの？
遺伝子は食べて怖くない、では組換えタンパク質は？
科学の限りをつくした安全性評価試験
雑草が枯れ、組換え作物が枯れない理由
遺伝子組換え食品と天然食品のアレルギー
遺伝子組換え植物の環境への影響
世界の食糧危機を組換え作物が救う
科学を信じない人々